

新型コロナウイルス感染症感染拡大(第5波)への対応とご報告

1. 新型コロナウイルス感染症感染拡大期における「医療逼迫」の状況について

(1) 市中の感染状況
 新型コロナウイルス感染症は、感染症専門家の予想をはるかに超えるスピードで、市中での感染爆発が起きました。呼吸困難を訴える患者も急激に増加し、自宅待機での療養、ホテル宿泊施設での療養が、8月中旬より県内では1万人を大きく超え、自宅療養者も8月19日より1万人を超えていました。これは県内の新型コロナウイルス感染症対応入院ベッドが1000床程度の確保であり、感染拡大による療養者の増大が、入院調整に大きな困難をもたらしました。

(2) 救急医療の逼迫

この間の報道にもありましたが、救急車が連絡を受けても、何時間も搬送先が決まらず、立ち往生することが多くなっています。それは、ここ船橋市、近隣の鎌ヶ谷市、白井市などでも起こっています。更に急変した他の患者さんからの連絡が消防署の救急隊へ入っても救急車が出払っており、出動すら出来ないという事態も起こっています。そのような中で、柏では妊婦さんの搬送に時間がかかり、自宅へ出産、生まれた子供が死亡するという痛ましい事件も発生しています。

当院の救急外来へも、自宅で療養されている新型コロナウイルス感染症患者が

救急車で搬送され、外来の処置室で対応せざるを得ない事態も頻発しました。その際には、感染対策から他の救急車の受入をストップさせざるを得ない事態となりました。

私のアイドル



3階中央病棟 澁谷聡美さんの次女 弥季(みつき)ちゃん(1才7ヶ月)
 お姉ちゃんの真似ばかりして毎日が賑やかです。現在、三輪車練習中!

2. 新型コロナウイルスワクチン接種の取り組みについて

新型コロナウイルスワクチン接種については、心待ちにされている方も多くいらっしゃるかと思います。現在は、船橋市が前週の実績をもとにワクチン確保できていく状況であり、確保できたワクチン数に合わせた予約を組ませていただいている状況です。

船橋市は9月16日から集団接種の予約を受け付けております。集団接種会場でワクチン接種についてもご検討いただけますようお願いいたします。



集団接種会場でワクチン接種についてもご検討いただけますようお願いいたします。

(3) 新型コロナウイルス感染症対応病棟の医療内容の一部縮小について

新型コロナウイルス感染症にも、すぐに医療機関に入院が出来ず、病状がかなり悪化してからの入院となるため、わたくし共医療

市内の様々な医療機関において、新型コロナウイルス感染症以外の医療活動を大幅に制限せざるを得ない事態となり、船橋二和病院ふたわ診療所においても、水曜日・金曜日に行っている夜間外来の当面の休止、

お願いいたします。

3. 今後の医療活動のあり方について

現在、爆発的な新規感染者の増加は一旦減少傾向にあると思われまします。しかし、いまだに第3波を超え

る方々が新型コロナウイルスに感染し療養されています。船橋二和病院管理会・対策本部では、次の第6波に向けた準備を行いながら、今後これまで制限していた医療活動を徐々に回復させていきたいと議論しています。

8月の初旬より、度重なる様々な受診上の制限を設けさせていただき地域の皆様方・友の会の皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしました。引続きの制限もありませんが、災害時の対応としてご理解いただけますようお願いいたします。

「日常生活でのフレイル予防」

船橋二和病院 初期研修医 松下 巧

フレイルとは「まだ介護が必要ではないが加齢により心身が衰えてしまっている状態」です。適切な取り組みによってフレイルは予防することができ、またフレイルとなっても健康な状態に戻る可能性があります。

フレイルの予防には3つのことが大事であるといわれています。それは「栄養」「運動」「社会参加」です。

ダイエットやメタボリックシンドローム対策などでやせることばかりに目が行きがちで、実際には栄養が足りていないことに自覚がない場合があります。フレイル予防のための栄養を考える際に気をつけるべきことは食事のエネルギーの量とタンパク質の量です。心身の健康を保つためにエネルギーが必要なのは言わずもがなですが、特にタンパク質は歩くための筋力を維持するために重要な栄養素です。普段の食事の量が少ないのであればカロリーの高いものを食べてエネルギーを補ったり、タンパク質が足りないようであれば、豆腐や納豆、牛乳、ヨーグルトなどを食事に取り入れてみたりすると良いでしょう。最近食欲が減ってきたり、体重が減ってきたりしているようであれば、かかりつけ医や栄養士に相談してみてもいいかもしれません。

コロナ禍で外出する機会が減ると運動する時間も減ってしまいがちです。運動の基本は歩くことです。普段エスカレーターやエレベーターを使っている場所で階段を利用してみることから始めてみましょう。

会食ができなくなり様々な行事が中止になる中で地域や周囲の人とつながり続けることが難しくなってきたように感じます。直接会えなくても電話なら大丈夫です。電話代が気になるのならパソコンやスマートフォンの無料通話アプリなどを使ってみるのもいいかもしれません。

フレイルの予防の基本はよく食べて、よく動いて、人と関わることです。少しずつでもいいので実践していきましょう。

年会費納入のお願い

前年の10月にご入会いただいた方は、年会費納入の時期です。また、それ以前にご入会の方で、会費をお支払いいただけていない方も、年会費の納入をお願いいたします。

- ・ふたわ診療所友の会コーナー
 (月々金/10時~12時)
- ・友の会事務所
 (月々金/10時~16時)で受付いたします。

お問い合わせは友の会事務所まで。納入の際は会員証をお持ちください。

また、お近くの友の会役員が、お訪ねする場合がありますので、よろしくご協力ください。

◎ご購入申し込みはもよりの地区役員、友の会事務局 ☎047(449)4417 外來案内コーナー(総合案内となり)まで